

受注企業動向調査結果

-2014. 4-

<業種内訳>

一般機械器具	23社
金属	20社
プラスチック	5社
精密機器	8社
縫製	5社
鉄鋼・非鉄	10社
電気機器	17社
輸送用機器	8社
計	96社

- 調査時点 平成26年3月調査（平成26年3月末時点）
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎（3、6、9、12月末時点）
- 回答企業 96社（回答率：64.0%）

DI (Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

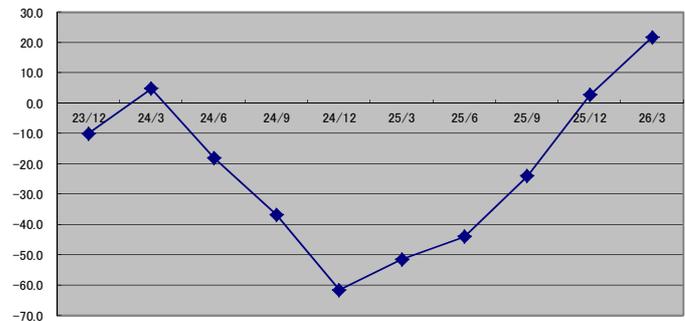
生産高（対前年同月比）DI

5期連続の改善でプラス値に

【概況】

生産高DIは21.9となり、前回の2.8から19.1ポイント増と改善した。
5期連続で改善の動きが見られ、精密機器・輸送用機器の好調が見受けられる。

生産高(前年比較)DI



	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3
生産高(対前年同月比)DI	▲ 9.9	4.9	▲ 18.0	▲ 36.7	▲ 61.5	▲ 51.4	▲ 44.0	▲ 24.0	2.8	21.9

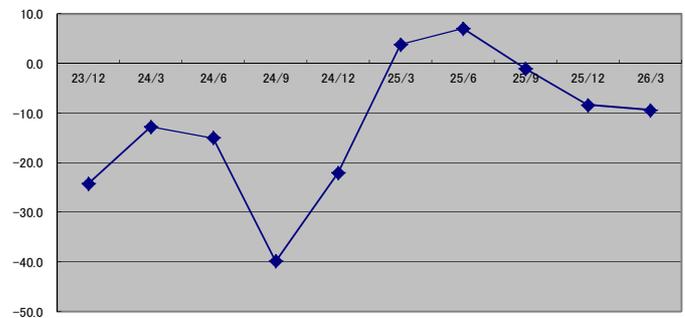
3ヶ月先業況見通しDI

3期連続で厳しい見通し

【概況】

業況3ヶ月先見通しDIは▲9.4となり、前回の▲8.3から1.1ポイント減でわずかに悪化した。
直近の生産高が増加しているが、消費税増税の反動が影響し、見通しが悪化すると見ている企業が多い。

業況3ヶ月先見通しDI



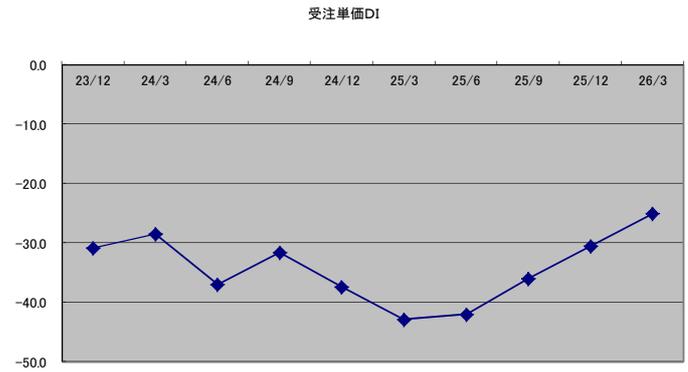
	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3
業況3ヶ月先見通しDI	▲ 24.2	▲ 12.7	▲ 15.0	▲ 39.8	▲ 22.0	3.8	7.0	▲ 1.0	▲ 8.3	▲ 9.4

受注単価 D I

4期連続で改善するも依然として低水準

【概況】

受注単価D Iは▲25.0となり、前回の▲30.6から5.6ポイント増とわずかに改善した。
改善は見られたものの、以前から低水準が続いている。海外との価格競争も有り、さらなる単価の下落が予想される。



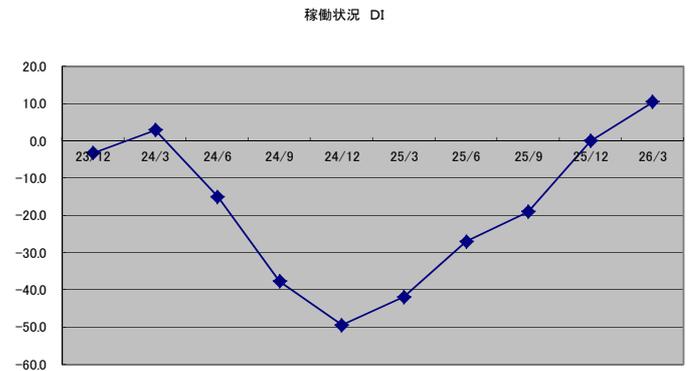
	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3
受注単価 D I	▲ 30.8	▲ 28.4	▲ 37.0	▲ 31.6	▲ 37.4	▲ 42.9	▲ 42.0	▲ 36.0	▲ 30.6	▲ 25.0

稼働状況 D I

5期連続の改善、過去2年間で最高値に

【概況】

稼働状況D Iは10.4となり、前回の0.0から10.4ポイント増と改善した。
生産高D Iの改善に合わせ、5期連続で改善し、過去2年間で最高値となった。



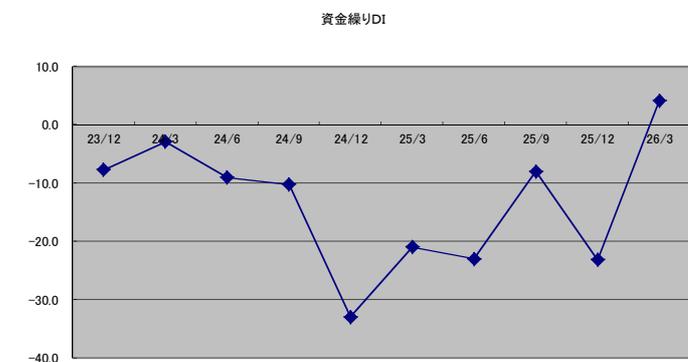
	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3
稼働状況 D I	▲ 3.3	2.9	▲ 15.0	▲ 37.8	▲ 49.5	▲ 41.9	▲ 27.0	▲ 19.0	0.0	10.4

資金繰り D I

マイナス値を抜け、プラス値に

【概況】

資金繰りD Iは4.2となり、前回の▲23.1から27.3ポイント増と大幅に改善した。
過去2年間マイナス値で低迷してきたが、プラス値へと改善し最高値となった。



	23/12	24/3	24/6	24/9	24/12	25/3	25/6	25/9	25/12	26/3
資金繰り D I	▲ 7.7	▲ 2.9	▲ 9.0	▲ 10.2	▲ 33.0	▲ 21.0	▲ 23.0	▲ 8.0	▲ 23.1	4.2